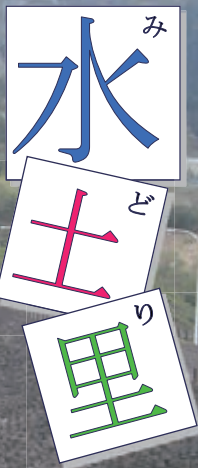


なまいがわ 生居川ダム



ウォーク



※生居川ダムでは施設の見学会は行っておりません。(管理者：上山市土地改良区)

水質改善のために作られた農業用ダム

村山盆地の南側、上山市街から県道264号を蔵王山に向かつて進んで行くと生居川ダムにたどり着く。

生居川ダムの大きさは、堤の高さ約48m、堤の長さ約314m、貯水量247万³m³(小学校にある一般的な25mプール「300³m³」で置き換えると約8,233杯分)である。

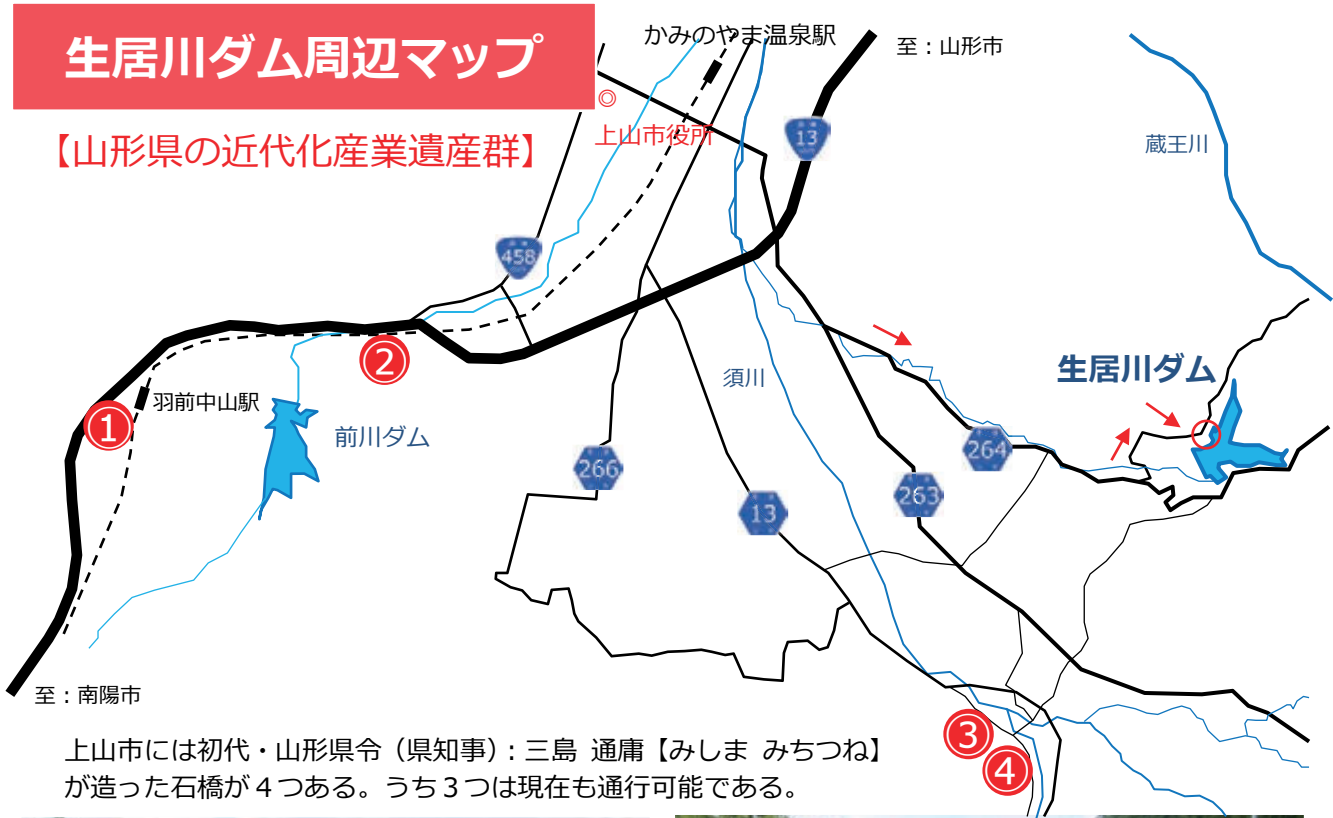
この生居川ダムは、強酸性で農業用水に適さない蔵王川の水の代替水源を確保するために造られた農業用ダムで、上山市を流れる須川の東側の水田地帯に水を供給している。生居川ダムを整備する前の水田地帯では、蔵王山から流れる蔵王川を水源としていたが、蔵王の火山活動に加え、明治以降に行われた硫黄の採掘により蔵王川の水質が酸性に変化し、水稻の収量や品質の低下に悩まされていた。

そこで、水質が安定している蔵王川上流の仙人沢からの真水を引き入れ貯留するダムを、昭和54年から平成4年までの14年間をかけて建設し、農業用水に利用することで問題を解決した。現在は、上山市土地改良区で管理を行っている。

生居川ダムは花森湖はなもりことも呼ばれ、ダム管理棟の隣に花森湖展望台が整備されており、高台からダムを眺めることができるので訪れてみてはいかがだろうか。

生居川ダム周辺マップ

【山形県の近代化産業遺産群】



上山市には初代・山形県令（県知事）：三島 通庸【みしま みちつね】が造った石橋が4つある。うち3つは現在も通行可能である。



詳細は山形県ホームページ(https://www.pref.yamagata.jp/ou/shokokanko/110001/him/him_maincat2.html)をご覧ください。
ホームページのQRコード（カメラアプリで読み取るとホームページが表示されます。）→

